



議長

両校の統合に関心を持ってる人はかなり多いようです。どのような形になっていくのか注視していかなければと思いますが、やはり三条市が中心となつて地元の思いを県に届けて進めていかなければならないでしょう。三条市立大学との連携もあると思います。

市長

商業と工業を一つの学校で学ぶということは、三条市立大学で既にやっけていてうまくいっていることですので、我々の考え方や経験も県と共有していきたいと思ひます。

◆国道289号八十里越の開通

市長

国道289号八十里越の開通が間近となつてきました。これまでは下田地域の話題といった雰囲気でしたが、徐々に市全体に期待感が広がってきたと実感しています。

議長

開通が近づいてくるにつれ、市民の皆さまから開通はいつか、どんなイベントをするのかよく聞かれます。景色の良い所があるから開通したら絶対見に行くといった話をたくさん聞くようになり、盛り上がりを実感しています。

市長

気運を高めるといふ意味では、昨年2つの橋と2つのトンネルの名称募集もしました。市民の皆さまに関心を持っていただけ



5号橋梁(きょうりょう) 写真提供:北陸地方整備局長岡国道事務所

よう、今後も八十里越開通にひも付けたイベントを仕掛けていきたいです。

議長

議会の交流では毎年三条市と只見町と交替で研修会や現場視察などをしています。昨年は只見町でしたが、只見町の皆さまにとつては、観光道路というよりも命の道という要素が大きいようです。救急車が会津若松市に行くより三条市にきた人が断然早いので、1日も早く開通してほしいという声がありました。

そういったことを含めて済生会新潟県中央基幹病院周辺のインフラ整備も、これからの大きな課題ですね。

◆農業の振興

議長

三条市の農産物で対外的に評判がいいのはシャインマスカット、ルレクチエなどです。こうした果物をさらにPRしていかなければと思います。また、昨年は、米の価

市長

物価や米の価格高騰が給食の値段などにもつながるわけです。しっかりと三条市の現状をしかるべきところにお伝えしながら、迅速に対応していきたいです。

議長

メディアでは大規模な農家の経営を取り上げて報道されています

◆医療・健康づくり

市長

市は県と連携し、大学医学部地域枠の学生に修学資金を貸与しており、只見町からも一定の助成をいただきながら県をまたいで医師確保と育成に努めています。全国的にも珍しい取り組みではないでしょうか。

昨年4月には新潟県立三条高等学校に理数科ができました。医学部に進んで、県央地域の医療に貢献してくれる子どもたちが出てくれることを期待しています。

また、看護師などとして三条市内の医療機関に就業し、三条市に移住された人に就業・移住支援金を一人当たり50万円支給しており、3年間で約60人が利用されています。

地元で医療系に進みたいという子どもたちはいるようですので、地元に残りたくなるようなまちづくりをしていきたいと思ひます。

が、もつと規模の小さい農家にも目を向けないといけないと思ひます。規模の小さい農家の後継者問題など、これから大変な時代になつてくると思ひます。

市長

農業もですが、鳥獣害対策でも人手不足の問題があります。クマの対策でスクールバスの運行範囲を広げましたが、ドライバーをどう確保するか、今後学校の統合が進んでいけば、スクールバスの運行範囲も広がります。

今後を見据えた人材不足に、本当にさまざまな分野で考え、動いていかなければなりません。

議長

学校統合は、現在は下田地域の話ですが、おそらく他の地域でも数年以内に広がっていくと思ひます。将来は全部の学校でバス通学という形に進んでいくかもしれません。行政としてもバスの手配やドライバーの確保などが大変になつてくるのではないのでしょうか。

格高騰といった問題もありました。米の問題はこの先も尾を引いていくのではという気がしています。市としても対策を考えていたきたいと思います。



ルレクチエのケーキ